



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 日本ユニシス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8056 URL <https://www.unisys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 昭良
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 澤上 多恵子 TEL 03-5546-7404
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	65,154	14.2	3,076	109.8	3,719	109.4	2,642	87.6
2019年3月期第1四半期	57,030	1.6	1,466	2.2	1,776	2.2	1,408	5.1

（注）包括利益 2020年3月期第1四半期 1,786百万円（△4.3%） 2019年3月期第1四半期 1,867百万円（△34.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.33	26.24
2019年3月期第1四半期	14.04	13.99

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	199,688	115,305	56.8
2019年3月期	211,421	116,615	54.2

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 113,432百万円 2019年3月期 114,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	25.00	-	30.00	55.00
2020年3月期	-				
2020年3月期(予想)		32.50	-	32.50	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	137,000	2.4	9,000	10.9	9,000	5.4	6,500	5.0	64.77
通期	307,000	2.7	23,000	11.5	22,800	11.1	16,000	12.4	159.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	109,663,524株	2019年3月期	109,663,524株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	9,311,485株	2019年3月期	9,315,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	100,350,623株	2019年3月期1Q	100,327,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題などの動向が世界経済に与える影響が懸念されたものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな景気回復基調にありました。

国内の情報サービス市場においても、情報システム投資が堅調に推移しておりますが、異業種からの参入による競争は激しくなると見込まれ、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況であると認識しております。

このような環境の中、日本ユニシスグループは、「顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業」として、業種・業態の垣根を越え、さまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムを創る中核となり、デジタルトランスフォーメーションを実現するプラットフォームの提供企業となることを目指した中期経営計画「Foresight in sight® 2020」（2018-2020年度）を策定し、重点施策に取り組んでおります。

中期経営計画で定めた4つの注力領域においては、対応する社会課題により、それぞれの領域の垣根を超えてクロスファンクショナルに活動しております。その中で主な取り組み例としては、エネルギーマネジメントの分野において、昨年度より実施している経済産業省の「非化石証書の利用価値向上に係る調査事業（FIT非化石証書のトラッキングに係る調査事業）」に続き、今年度より「エネルギー供給構造高度化法に基づく非化石電源に係る認定業務」について、国の委託を受けた第三者機関として認定に係る実務を開始することを決定いたしました。本認定業務では非FIT非化石電源に係る情報を集計・管理し、発電される電力量の認定に伴う実務などを行います。本調査事業に加え、これまでのエネルギー業界における取り組みにおいて培ってきた技術と知識を最大限に生かし、再生可能エネルギーのさらなる拡大に貢献してまいります。

また、当社は、「VR でマイホームをつくる」をコンセプトとして、バーチャル住宅展示場「MY HOME MARKET®」を株式会社ジブンハウスと共同開発し2018年3月から運営しておりますが、このたび、株式会社新昭和ウィザース東関東、株式会社新昭和FCパートナーズ（クレバリーホーム）、旭化成ホームズ株式会社の住宅販売に採用され、順調にサービスを拡大しております。「MY HOME MARKET」の提供を通じて、マイホームをつくるお客様の理想に寄り添った住まいづくりと、多様なお客様のニーズに対応する住宅業界における人手不足の解消・働き方改革の推進の両面に貢献してまいります。

IoTビジネスプラットフォームにおける新たな取り組みとして、ビル・マンション管理会社向けの設備点検サービスである「まるっと点検™」や屋外設備や環境の監視サービスである「MUDENモニタリングサービス™」の提供を開始いたしました。大規模な自然災害や環境変化の影響からインフラ設備の定期点検や監視業務の重要性が増している中、点検作業の効率化と作業現場の働き方改革が急務になっています。これらのサービスではデジタル化により遠隔監視や点検業務の効率化を行うことで、設備保全業務の高度化や作業員の人手不足解消に貢献します。

一方、ICTコアビジネスでは、幅広い業種でSI型ビジネス案件やインフラ向けの物販案件などが堅調に積み上がっています。案件のリスクを慎重に見極めつつ、選択的に対応しながら、知財の共有やリユースなど、システム開発や運用における生産性向上に向けた取り組みを継続して推進しております。

以上のように、中期経営計画「Foresight in sight 2020」の達成に向けて日本ユニシスグループ一体となって取り組んでおります。

- (注) 1. デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術を活用してビジネスを変革すること。
2. 非化石証書：2018年5月より経済産業省は、CO₂（二酸化炭素）を排出しない自然エネルギーなどによる発電設備（非化石電源）より発電された電力の環境価値を証書化し、「非化石証書」として売買できる非化石価値取引市場を創設しました。
 3. FIT：再生可能エネルギーの普及を図るため、電力会社に再生可能エネルギーで発電された電気を一定期間、固定価格で買い取ることを義務付けた制度。
 4. エネルギー供給構造高度化法：電気やガス、石油事業者といったエネルギー供給事業者による、再生可能エネルギーや原子力などの非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律。
 5. MY HOME MARKET：当社が展開する、スマートフォンなどのデジタルデバイスからVR上でモデルハウスを疑似体験することで理想の家づくりをサポートするサービス。
 6. IoTビジネスプラットフォーム：日本ユニシスグループが提供するセンサーやカメラなどのデバイスによるデータ収集からデータ解析、機械学習までを一貫して管理するプラットフォーム。
 7. まるっと点検：当社が提供するIoT・AI・スマートグラスを組み合わせた、ビル・マンションの設備点検サービス。ビル・マンション管理会社における設備点検コストの大幅な削減と働き方改革を実現します。

8. MUDENモニタリングサービス：当社が提供する電源や中継局不要で屋外環境や設備を遠隔監視するサービス。
9. 記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、システムサービス、ソフトウェア、ハードウェア販売等が堅調に推移した結果、売上高合計で651億54百万円（前年同期比14.2%増加）となりました。

利益面につきましては、研究開発費の増加等があったものの、売上高増加に伴う利益増加等により営業利益は30億76百万円（前年同期比109.8%増加）、経常利益は37億19百万円（前年同期比109.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億42百万円（前年同期比87.6%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比117億32百万円減少の1,996億88百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が81億28百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が261億76百万円減少したこと等により、104億91百万円減少の1,177億78百万円となりました。固定資産は注力領域およびICTコア領域のアウトソーシングサービス関連を中心に15億13百万円を投資した一方、減価償却費27億39百万円を計上したこと等から、12億41百万円減少の819億10百万円となりました。なお投資有価証券については、注力領域の強化・拡大を目的として、スタートアップや、ファンドへの戦略投資を行った一方、保有意義の見直しによる保有株式の一部売却、保有する上場株式の株価下落等により、前連結会計年度末比で1億54百万円減少いたしました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末比104億23百万円減少の843億83百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加の一方、配当金の支払等により、前連結会計年度末比13億9百万円減少の1,153億5百万円となりました。この結果、自己資本比率は56.8%と前連結会計年度末比2.6ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日発表の連結業績予想および個別業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,200	35,328
受取手形及び売掛金	72,479	46,303
商品及び製品	8,248	11,206
仕掛品	1,947	4,462
原材料及び貯蔵品	86	81
その他	18,364	20,433
貸倒引当金	△56	△38
流動資産合計	128,270	117,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,082	4,047
機械装置及び運搬具(純額)	6,670	6,209
その他(純額)	3,496	3,378
有形固定資産合計	14,249	13,634
無形固定資産		
のれん	1,288	1,234
ソフトウェア	19,982	19,408
その他	102	94
無形固定資産合計	21,373	20,738
投資その他の資産		
投資有価証券	23,854	23,699
繰延税金資産	1,656	1,236
退職給付に係る資産	7,087	7,563
その他	15,237	15,336
貸倒引当金	△307	△298
投資その他の資産合計	47,528	47,537
固定資産合計	83,151	81,910
資産合計	211,421	199,688

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,009	19,203
短期借入金	1,050	350
1年内返済予定の長期借入金	5,255	5,180
未払法人税等	2,905	287
未払費用	11,155	7,119
前受金	15,761	22,766
請負開発損失引当金	652	387
その他の引当金	1,555	1,182
その他	10,254	9,632
流動負債合計	74,600	66,109
固定負債		
長期借入金	16,635	15,765
引当金	416	231
退職給付に係る負債	614	624
資産除去債務	1,131	1,136
その他	1,408	514
固定負債合計	20,206	18,273
負債合計	94,806	84,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	14,909	14,909
利益剰余金	97,893	97,522
自己株式	△13,540	△13,535
株主資本合計	104,745	104,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,561	6,049
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△31	△54
退職給付に係る調整累計額	3,361	3,057
その他の包括利益累計額合計	9,892	9,052
新株予約権	432	428
非支配株主持分	1,544	1,444
純資産合計	116,615	115,305
負債純資産合計	211,421	199,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)
売上高	57,030	65,154
売上原価	43,035	49,426
売上総利益	13,994	15,728
販売費及び一般管理費	12,528	12,652
営業利益	1,466	3,076
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	336	353
偶発損失引当金戻入益	-	300
その他	63	108
営業外収益合計	401	764
営業外費用		
支払利息	24	18
和解金	2	65
投資事業組合運用損	9	25
その他	54	11
営業外費用合計	91	120
経常利益	1,776	3,719
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11
その他	-	0
特別利益合計	-	11
特別損失		
減損損失	-	51
投資有価証券評価損	182	45
その他	2	4
特別損失合計	184	101
税金等調整前四半期純利益	1,591	3,629
法人税、住民税及び事業税	△39	235
法人税等調整額	230	766
法人税等合計	191	1,001
四半期純利益	1,399	2,627
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,408	2,642

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)
四半期純利益	1,399	2,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	422	△512
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整額	131	△303
持分法適用会社に対する持分相当額	△86	△23
その他の包括利益合計	467	△841
四半期包括利益	1,867	1,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,875	1,801
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。